

平成30年度 指定管理者評価シート

所 管 課	西市教育委員会 こども未来部 こども・若者ステーション
評価対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

平成30年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西市久代児童センター
	所 在 地	兵庫県川西市久代3丁目16番30号
	設置目的	児童の健全な育成を図るため、川西市久代児童センターを設置する
利 用 料 金 制	<input checked="" type="radio"/> 非利用料金制 ・ <input type="radio"/> 一部利用料金制 ・ <input type="radio"/> 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目12番16号
指定管理業務の内容	(1)健全な遊びを通じて児童の集団的及び個別指導に関すること。 (2)児童の体力増進の指導に関すること。 (3)子ども会、母親クラブ等の地域組織活動の育成及び助長に関すること。 (4)施設の使用許可、取り消し、その他施設の使用に関すること。 (5)施設及び付属設備の維持管理に関すること。 (6)そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。	
指定期間	平成29年4月1日 ～ 平成34年3月31日	

A	優	良
B	良	好
C	課	題 含
D	要	改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	川西市教育委員会 子ども未来部 子ども若者ステーション	評価区分	A
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		
①法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	設置目的である児童の健全な育成を図るため、地域の保育所(園)、幼稚園、小学校、中学校と連携し、また地域の行事“どんとまつり”の参加や児童センターで“夏まつり”などを開催しました。	A	市の設置目的に沿い、児童の健全育成に寄与し、また川西南地域や市の行事に積極的に参加しながら施設のPRを行い事業運営に成果を得ることが出来ている。		意見なし	
②利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	初回利用時に、川西市在住であることを確認し、登録手続きとして住所、氏名、生年月日、連絡先電話番号を記入していただき、他市の人には丁寧な説明し、規則どおりお断りしました。利用日毎に氏名と電話番号を記入していただき、忘れ物や緊急時は電話等でお知らせしています。	A	利用に係る登録方法や利用に関し、適切かつ丁寧に対応されている。また、職員間でも周知徹底されており、利用者目線に立ち各所で工夫がみられる。		意見なし	
③施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	B	市の広報誌、施設のホームページ、毎月のお知らせによる広報活動や館内掲示とともに、職員が積極的に児童やお母さん方に直接声掛けをしたことで、行事の参加者数増に繋がることができました。	B	広報紙への掲載など積極的に取り組まれている。また個別に直接声かけすることにより参加者の裾野を広げ、行事の参加者数は増加しているが、新たな広報活動については実施できなかった。		意見なし	
<課題>		子育て世代を対象にした効果的かつ新たな広報活動の検討が必要であると考えています。		ホームページのあり方の見直しや、新たな広報活動の検討に取り組んでいただきたい。		意見なし	
<改善内容>		夏休み期間等の長期休暇や里帰り出産で一定期間川西市に在住される方について、市と相談の上、川西市在住のご家族に対するサポートとして利用していただきました。また、内部監査を継続し、法令遵守に努めます。		長期休暇の過ごし方は、子育て支援としても課題となっているため、児童館としてもサポートをお願いしたい。		意見なし	
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		
①施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	児童クラブ・幼児クラブ・母親クラブなどを実施し、地域の子育て支援へのニーズに対応しました。詩吟、大正琴、囲碁、工作などの教室もあり、中高生と赤ちゃんのふれあい交流会やお菓子作り・料理教室なども行いました。	A	地域に根ざした運営に取り組みられ、施設の目的に沿って活用されている。		意見なし	
②施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	就園前1年の幼児の利用が減少しましたが、小学校高学年の児童の利用が増えました。マタニティ交流会や母親リフレッシュ講座も行いました。夏まつりは429人、プールは延べ324人の参加がありました。	A	事業は昨年同様に取り組まれている。アンケート結果などを反映し、プログラムの内容を改善されている。		意見なし	
<課題>		利用者数の減少傾向は、単に少子化だけの問題ではなく、児童の放課後の過ごし方の多様多様化(塾・お稽古)や生活の変化が考えられます。		簡単に利用者を増やすというのは難しいかもしれないが、事業の見直しや広報による利用者の掘り起こしを期待します。		意見なし	
<改善内容>		平成30年度の状況を受けて、次年度は幼児クラブ(就園後)の利用者拡大のため、こども園、幼稚園に事業チラシ等の配布を依頼します。		事業内容を広く周知するとともに総合センターと意見交換をするなどして事業の見直しを図り、利用者拡大につなげてください。		意見なし	
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度		
①利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	中高生と赤ちゃんのふれあい交流会は、保護者の皆様と参加した中高生にその都度アンケートを行っています。また、利用者アンケートを年1回実施しました。	A	中高生対象事業を継続的に開催され、その動向をつかむためにアンケート実施されていることは評価できる。		意見なし	
②利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	行事内容の見直しや、より参加しやすい事業を確保しました。また、個々の育ちを踏まえ、どの子どもさんにも楽しんでいただけるような対応を継続しました。	A	利用者の意見を取り入れサーキットのように遊具を配置したり、内容を検討し、ニーズにこたえようとしている。		意見なし	
③利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	苦情には、その都度誠意をもって迅速に対応し、努めて丁寧な説明を心掛けます。法令や利用のルール、平等な利用に関する事業の場合、必要に応じて川西市子ども若者ステーションの判断指示を仰いでいます。	A	迅速かつ丁寧な対応を心掛け、利用者の満足度につながっていると考えられる。		意見なし	
④アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	普段より、職員から声かけをして、日々の活動時にコミュニケーションをとることで、利用者からの本音の意見を引き出すことができるよう努めています。	A	アンケートのみならず、対面でコミュニケーションを図ることにより、利用者の本音の意見が聞け、今後の運営に非常に有効である。		意見なし	
⑤サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	事業実施後、事業内容の反省欄を記入した指導案を回覧し、次回のサービス向上に活かすべく情報を共有しています。事業内容が参加者にとって満足度のいくものであったかを職員全員が意識する効果を得ています。	A	個々の事業運営の中で気づいた点などを回覧し、意見を出し合い、情報の共有を図ることにより、全職員の意識づけに役立っている。今後のサービス向上に期待します。		意見なし	
<課題>		子育て支援グループへの支援として、スペース提供を試みましたが、日程調整が困難で、5月に1回のみの実施となりました。今後も相談に応じて対応していきます。		空いている日程が少なく、調整は難しいかもしれませんが、子育て支援グループとも関係を深め、対応していただくことを望みます。		意見なし	
<改善内容>		サーキットなど遊戯室全体を使う事業を工夫しました。母親クラブでは講座講師を招いての料理教室やお菓子作りを行いました。		利用者にとって魅力的な企画を期待します。		意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	川西市教育委員会 こども未来部 こども・若者ステーション	区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	なぜその評価に至ったか(説明)				
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A		A		2 効率性の向上に関する取組み【効率性】				
(2-1) 経費の節減	A		A		(2-1) 経費の節減				
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	年間を通じて、高額となる水道光熱費について、職員各自が意識して利用者がいない時間、部屋の照明や空調のスイッチを切るよう、周知徹底し、また、利用者に対しても趣旨を説明したうえで、部屋を出る時に消灯するなどの協力依頼を継続しています。	A	職員全体で意識し節約につとめられている。また利用者に対しても周知を図っており、経費の削減につながっている。	意見なし				
② 管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	経費節減を意識して、修理や物品購入時は、必ず相見積りを取っています。また、低額な各種備品購入では、近隣のホームセンターなど安価で購入できる業者を利用し「少しでも経費節減を」を意識しています。	A	経費節減を常に念頭に置かれ、努力されている。今後も経費が最小限になるような運営を期待します。	意見なし				
< 課題 >		建物・設備は築30年以上経過しており、老朽化・経年劣化が進行し、今後の修繕費の増加が見込まれるため、必要に応じて川西市と協議しながら取り組みます。		経年劣化による、修繕費の増加、使い勝手の悪さ	意見なし				
< 改善内容 >		清掃業務委託について、シルバー人材センターの設立趣旨に賛同し、清掃業務すべてを委託していましたが、高齢者が直接される通常清掃以外のワックスがけ・ガラス清掃等を一般清掃会社との相見積りを取り安価な業者に委託しました。		相見積りもとるなど、経費の削減を積極的に実施している。	意見なし				
(2-2) 収入の増加	評価なし		評価なし		(2-2) 収入の増加				
① 収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。									
② 収入の増加など取り組みの効果が得られたか。									
< 課題 >									
< 改善内容 >									
(2-3) 収支のバランスなど	評価なし		評価なし		(2-3) 収支のバランスなど				
① 収支のバランスは、適切であったか。									
② 費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。									
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。									
< 課題 >									
< 改善内容 >									

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	川西市教育委員会 こども未来部 こども若者ステーション	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】			
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況			
①法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	所長(兼務)、事務員(兼務)、児童厚生員2人、指導員1人が配置されています。利用が多数の場合などは、事故防止や安全面を考え、老人福祉センターの職員との連携を図っています。	A	老人福祉センターと一体的な運用に取り組み、連携を図りながら効率的な管理運営が出来ている。	意見なし			
②法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	「子育て支援者等研修講座」「普通救命講習Ⅲ」「平成30年度子育て支援講座(川西市の子育て支援ってどんな活動があるのかな)」に参加し、復命書をもとに、知識・情報を共有しました。内部研修として、「パワーハラスメント」「マタニティハラスメント」を実施しました。	A	研修に積極的に参加され、研鑽を積み、業務の向上に役立っている。また、専門職としての児童厚生員の研修なども検討していただきたい。	意見なし			
③経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	夏・冬の空調の温度管理に細心の注意を払い、また、乳幼児・児童の利用する施設として、特に夏場は熱中症予防のために、水分補給のための水筒持参を館内掲示し、口頭でも注意喚起しました。	A	空調の温度管理や乳幼児・幼児に対する配慮など細心の注意を払い、管理運営が適切に行われている。	意見なし			
④施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	B	地域・世代間の交流を目的にする事業を検討し、前年の取組を継承して、川西市吹奏楽団による「春のミニコンサート」を企画開催、また、久代デイサービスとの共催でデュオのコンサート、老人福祉センター開催のマジックショーも遊戯室にて実施しました。	B	他の児童館の職員との交流など、人材育成やリスク管理、効果的な運営などにおいて新たな取り組みを検討していただきたい。	意見なし			
< 課題 >		事業の円滑な運営と事故防止のため、児童センター職員と老人福祉センター職員は、常に相互に業務を調整し、協力して事業を行うことが必要であると考えています。		限られた人員の中で適切な管理運営を維持していく必要がある。	意見なし			
< 改善内容 >		公共の施設として相応しい対応ができるように、児童センター職員と老人福祉センター職員が行う相互協力を継続して行います。		一体的な施設の管理運営を引き続きお願いします。	意見なし			
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など			
①法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	初回利用時、川西市に住所を有しているかを確認の上、登録していただけます。閉館時間に関しては、放送を通じて周知徹底しています。また、法令に従った適切な事業運営を行うため、年1回社協本部による内部監査を実施しています。	A	法令に則り、適正な管理運営を行い、そのチェック体制が出来ている。	意見なし			
②施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報は、施設の施錠できるロッカーに保管し、外部への持ち出しを一切禁止する事を職員に徹底しています。利用者には、写真撮影の際は、広報紙への掲載等について、事前に了解を得ています。	A	利用者の個人情報に配慮し、適切に取り扱われている。	意見なし			
③日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	乳幼児は、保護者に目を離さないよう依頼し、児童は、乱暴な行動やケンカなど起こさないよう見守りや声掛けをしています。地域防犯ボランティアさんが、定期的に見回りに来られています。	A	事故防止にむけて安全対策に取り組まれている。	意見なし			
④防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	終業後、夜間、休日の警備はアルソックと契約しています。火災の避難、誘導、通報、消火訓練は、消防署職員立会いのもと、必要な指導を適時受けました。また、県警のホットライン通報テストを年1回実施しています。	A	年間を通じて、安全対策に取り組まれている。不審者対応訓練等も検討していただきたい。	意見なし			
⑤事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時(ケガ・体調不良)、非常災害時対応のマニュアルを作成しています。また、ヒヤリハットのノートも作成し全員で情報を共有しています。設備に関しては、毎月1回職員が点検しています。	A	毎月の設備点検、ヒヤリハットの共有など職員が一体となり、施設の運営が適切に行われている。	意見なし			
⑥利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	児童のおもちゃ(ゲームなど)の貸し出し、卓球台(3台)、ビリヤード台(1台中学生以上)の使用は、時間を設定し、時間が過ぎると次の児童と交代することし、平等に利用できるよう配慮しています。	A	利用者が平等に施設利用できるよう、施設運営者はルールを決め配慮している。	意見なし			
⑦利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。		非該当						
< 課題 >		法令遵守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用などは、全職員が意識して、継続的に取り組む必要があります。		継続的な取組みが出来ている	意見なし			
< 改善内容 >		消防署の立入検査で久代老人福祉・児童センター及びデイ棟は防火対象物定期点検の対象となり、点検報告を有資格者より川西市消防長にすることと指示があり30年度より実施しました。		防火意識の高さは評価できる	意見なし			

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	川西市教育委員会 こども未来部 こども・若者ステーション	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分			指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
総合評価			指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価ランク	A			A				
・評価できる内容	平成30年度は、乳幼児の事業として、幼児クラブが15事業、母親クラブが2事業、図書室とプレイルームの開放を実施しました。また、小学生の事業として15事業、中学生は中学生と赤ちゃんの交流会、中学生のお菓子作り、料理教室、インターンシップなど4事業を実施しました。遊戯室・運動指導室の開放、おもちゃの貸し出しなど多様な事業を展開しました。大きな事故、トラブルはありませんでした。地域の幼稚園、小学校、中学校との連携や関係機関との連携を図ることで子育てに必要な情報共有もできました。		数多くの事業を事故やトラブルなく実施できている。地域の幼稚園、小学校、中学校との連携は有効だと評価します。				意見なし	
・平成30年度に改善した内容	川西猪名川地域活動栄養士協議会の協力のもと中学生の料理教室を実施しました。また、中学生のお菓子作り専門の講師を依頼して行いました。		関係機関との連携、および様々な世代に働きかけている。利用者の増加には直接は結び付いていないが、満足度は上がるのではないかと期待します。				意見なし	
・平成30年度に改善したことによる効果	中学生の参加できる行事を実施することで、施設が有効に活用できる機会を増やすことが出来ました。		中学生が参加できる時間帯が限られており、企画が難しい面もあるかと思いますが、多くの世代に働きかけることで利用者の増加を望みます。				意見なし	
・問題があり次年度以降改善が必要な点	育児サークル等地域で活動されている母親クラブ等への支援取り組みが必要ですが、児童センターに空きスペースがなく、定期的なグループ活動の受入調整は困難でした。 開館時間帯との関係もあり、中学生の利用が伸びていませんが、18歳までを対象とする児童センターとしては、利用者数増が課題です。		地域での継続的な支援のため、広報活動の在り方などぜひ今後も問題意識を持ち、取り組んで欲しい。				意見なし	
・改善方法とその時期	母親クラブ等の利用は事業と空きスペースの関係で、改善は難しいものとなっています。 中学生の利用については普段の通常利用も伸ばしたいところですが、長期休暇(夏休み・春休み)の間の事業(インターンシップなど)への参加の呼びかけ等をおして利用者数増に繋がるよう努めます。		久代児童センターとして、子育てグループの支援に積極的に取り組み、地域に根ざした事業を実施する方向でお願いしたい。中・高生の居場所としての役割も期待します。				意見なし	

【記入上の留意点】

(1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。

(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。